

まちの話 だい

5月28日 | 優しく赤ちゃん和交流

金谷中学校で、赤ちゃんふれあい体験授業が行われました。この授業は、命の尊さを理解し、自分自身も大切に育てられてきたことを実感してもらうため、市内の各学校で行われています。

この日は、14組の親子が参加。最初は緊張していた生徒たちも、笑ったり泣いたりする赤ちゃんに触れ合ううちに、笑顔を見せていました。生徒たちは、妊娠・出産・子育てへの理解を深め、命について学びます。



5月5日 | 昔懐かしいこどもの日

博物館で「こどもの日の集い」が開催されました。これは、子どもたちに昔ながらの遊びや普段できない体験を楽しんでもらおうと、博物館が毎年企画しているものです。

大きなボードに落書きしたり、かざぐるまや折り紙のかぶとを作ったりして遊んだ子どもたち。その他にも、フラフープや缶ぽっくりなどの昔懐かしい遊びを、大人と一緒に楽しんでいました。

5月1日 | 令和初のSLが出発進行

新元号を記念したSLが、大井川鐵道新金谷駅から発車しました。

日章旗と「令和」の文字を冠したヘッドマークが装着された「改元記念令和号」は、大きな汽笛を鳴らしながら出発。その姿を一目見ようと、ホームは県内外から駆けつけた多くのファンや乗客でにぎわいました。同SLは3日まで運行し、新たな時代の始まりを祝いました。





5月11日 | バラをテーマに帯結び

ばらの丘公園で「ばらの丘フェスティバル」の期間中、バラの花を取り入れたウエディング・ドレスのファッションショーが開催されました。

モデル3人の伝統的な花嫁衣装が、早着替えて最新のアレンジドレスに変身。白い洋装に振り袖とバラ型の帯結びを合わせたり、白無垢に島田市緑茶化計画の基調色を取り入れたたりした新感覚ドレスが、多くの来場者を魅了しました。

5月2日 | 茶祖をしのぶ八十八夜

茶祖・栄西禅師^{えいさいぜんじ}の遺徳をしのび、茶業振興を祈願する「茶感謝祭」が、牧之原公園で開催されました。式典は、立春から88日目となる八十八夜に合わせて行われ、金谷仏教会の僧侶による供養と参加者からの新茶献上が行われました。

式典後、神谷城保育園の園児たちがかわいらしい豆茶姿で登場。かなや茶娘大使と一緒に「ちゃつきり節」と「金谷音頭」を披露してくれました。



5月11日 | 日頃の感謝を花束にして

初倉児童センターで母の日に合わせ、「キャンディーフラワー作り教室」が開かれました。

参加した小学生約40人は、使い慣れたハサミとボンドを用いて、色とりどりの紙で花を製作。中心にお気に入りのキャンディーを差して、完成させました。児童たちは、「いつもありがとう」「大好き」など、日頃の感謝を込めたメッセージを添えて、家族にプレゼントしました。